

決算特別委員会

22年度
決算

歳出総額
53.8億円

一般会計 38億8,116万円
(21年度 38億2,331万円)
特別会計 13億2,084万円
(21年度 14億5,295万円)
企業会計 1億8,497万円
(21年度 1億8,773万円)



ブックスタート事業

- 農業者年金加入者の目標は
- ツール・ド・カムロを催し、その中で知り合って結婚された方もいる。
- 町としても、出会いの場の提供について支援をしていきたい。
- その他の質問
- 農業者年金加入者の目標は
- 農地・水・環境保全事業の継続
- プレミアム商品券の入浴券利用
- 住宅リフォーム補助と浄化槽整備セット



小野寺賢一 決算特別委員長

決算特別委員会

平成22年度の予算がどのように使われたのか、一般会計、6つの特別会計、1つの企業会計を審議する決算特別委員会が設置されました。委員長には小野寺賢一議員、副委員長には矢口政一議員が選出され、9月8日松坂忠良代表監査委員による各会計決算審査意見の説明に続き、12日・13日の2日間にわたり審議がおこなわれました。8人の委員（議長と委員長を除く）が広い視野に立った質問をおこない町政を質し、13日午後の本会議で、全会計を全員賛成で原案の通り可決しました。



代表監査委員
松坂 忠良 氏

代表監査委員意見

平成22年度における一般会計、特別会計を合わせた決算収支の状況は、前年度よりも増加し、引き続き黒字決算となりました。昨年以來、決算規模及び黒字決算額が増加した要因は、国の景気浮揚対策による国費投入が大きなものである。臨時的な国策であった。

昨年以來、決算規模及び黒字決算額が増加した要因は、国の景気浮揚対策による国費投入が大きなものである。臨時的な国策であった。

ことを考えると、わが町及び最上地域の永続的な産業振興を図り、雇用の拡大、人口の定着化を、より一層進めていただきたい。

婚活事業の取組み

矢口 政一 議員

問 未婚は人口減少の最大の原因であり、高齢未婚者が増加している。

結婚のきっかけを失った方々にふれあいの場の提供を各自治体で取組んでいるが、町としての取組みは。

答 町長 現在、婚活事業を8市町村一体で取組んでおり、出会いの場・生涯の伴侶を求める場を提供して、2年目になる。

成果として、交際に発展したのは10数組であるが、結婚されたのかまでは追跡をしていない。町内では、若い方々

適時適育 親の組織化を

沼澤 道也 議員

問 幼稚園からはPTA等の組織があるが、0歳から3歳までは親の組織がなく、組織化は適時適育として重要と考える。

また、家庭教育指導委員の有効な活用を。

答 教育長 0歳から3歳までの親については、子育て支援センターの中で相談事業を行っており、交流もある。家庭教育連絡員は、20数名を指名して地区に配置している。組織化についても検討したい。

● その他の質問
かねやま未来会議の不用額は

弱体経済に危機感を

須藤 典夫 議員

問 県の資料で市町村民税課税状況等の調で県内35市町村の22年度の状況が出ている。わが町は、給与所得納税義務者数は35団体中35位、営業等所得納税義務者数は34位と町の経済は弱い。

町の経済、個人所得の増加にむけて危機感を持った取り組みを。

答 町長 給与所得や営業所得が低いことに心配している。どの分野に力を注げば効果的であるのか資料を分析し、雇用の創出などに努力したい。

また、投資的事業をすれば数値が上がるのか単純にはいれないが、水準を上げるための取り組みをしたい。

● その他の質問
● シェーネスハイム金山の今後は
● 教育資料館の整備は



若者が集うツール・ド・カムロ